

一般質問通告書(平成 22 年 3 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p><b>1 2番 村上 和子</b>                      1 町民の足の確保、町営バスをより                      利便性の高い運行体制と、地域の足                      としての新しい「デマンド交通」な                      ど考えられないか                      (町 長)</p>	<p>1 町民の足としての町営バスの現在の運行体制が利用者の利便にかなっているかどうか。1年かけて                      検証し、見直したいということであったが、どのような見直しになったのか伺いたい。                      2 「デマンド交通」とは、全国 160 ヶ所以上で導入され、指定場所に呼び目的地まで乗れる、しかも                      低料金で自治体としても負担が少ないということで注目されているが、使用するには利用者が登録                      をして、30 分前に予約を入れ、何人かで一緒に乗る。これまでの路線バスともタクシーとも違う運                      行方法で、地元タクシー会社への運行委託をするなど、新しい地域の足としてこういった手法を取                      り入れてみる考えは。</p>
<p>2 自動体外式除細動器(AED)の                      備え付け場所の表示と拡大、保守点                      検の確認を                      (町 長)</p>	<p>事故や病気などの痙攣した心臓に電気ショックを与え、心拍を回復させる A E D の設置場所が、正確                      にどこに設置されているか分からないという人が町民の中に多くおり、現在何ヶ所に設置しているの                      か、その場所を明確に表示することが必要と考える。また、設置を増やす考えは。                      他市町村では使用時に電源が入らない、保守点検の意識の低さが背景にあるということだが、肝心な                      時に作動しないと命に関わるので、本町の状況はどうなっているのか、担当する所管を明確にして保守                      点検を行う必要があるのではないかと。</p>
<p>3 新学習指導要領に対応する教育                      環境の充実について                      (教育長)</p>	<p>新年度に向け、各学校では本年度の課題を整理し、生徒指導の確立と授業づくりの研究を柱とした計                      画に取り組んでいると考えるが、新学習指導要領に基づく必修化される中学校の武道の取り組みについ                      て、どのように考えているのか。武道にも剣道、柔道、相撲等、項目が色々あるが、上富良野町では                      どの項目を取り入れてやっていくのか。また、それらを指導する先生の確保や研修の教材費等、予算計                      上が必要と考えられ、これらに対応する教育環境の充実について伺いたい。</p>
<p><b>2 5番 米沢 義英</b>                      1 障害者支援について                      (町 長)</p>	<p>町が実施している、日中一時支援事業や移動支援事業は、利用時間や利用日数・自己負担の点で、利                      用者にとっては大変利用しづらいとの声があるが、これから設置されようとしている通所事業所、N P                      O 法人との連携も含めた町の今後の対応について伺いたい。</p>
<p>2 休日保育について                      (町 長)</p>	<p>後期次世代行動計画では、休日保育の実施については平成 2 6 年度となっており、意識調査では、利                      用したい保育サービスの中でも要望が多い状況にあり、実施時期を早めることも検討すべきではと考                      えるが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>3 商業振興について                      (町 長)</p>	<p>産業構造の変化で町の商工業の店舗数も年ごとに減少してきている。町の活性化のためにも商工振興                      計画や条例などの策定を検討する必要があると考えるが、今後の対応について伺いたい。</p>

<p>4 特産品の加工販売について (町 長)</p>	<p>町には、貴重な自然や農産物がたくさんあり、それらを活用し特産品の加工や販売に結びつくような、活気のある地域づくりを進めることが求められていると考えられる。今後、町においては、多くの住民の声を取り込めるような協議会の設置や農産物の加工に向けた、大学などとの連携も視野に入れた取り組みが必要と考えるが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>5 商工業・農業後継者対策について (町 長)</p>	<p>町の振興策の一環としても、地元若い世代の人たちが定住できる環境づくりは、活気のあるまちづくりを進める上でもとても必要なことであり、商業・農業者や町においても後継者の定着と育成は大きな課題となっている。今後、町においては、商業・農業の垣根を越えた横断的な協議会を設置し、後継者対策をよりいっそうしっかりと考える必要があると考えるが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p><b>3 8番 岩崎 治男</b> 1 町の基本計画について (町 長)</p>	<p>上富良野の町政運営は、平成21年4月に上富良野町自治基本条例がスタートした。また同時に、第5次町総合計画がスタートし、「四季彩のまち かみふらの 風土に映える暮らしのデザイン」を将来像と定め、まちづくりを進めていこうとしている。自主自立を堅持しつつ、行政運営を進めて行くわけだが、どの様な方針で財政の基盤強化を図っていくのか。</p>
<p>2 駅前整備事業について (町 長)</p>	<p>駅前広場周辺の景観整備と、人や車の往来に配慮した交通網の整備が必要である。 ラベンダーの観光客や十勝岳温泉郷を訪れる旅人の心が癒せる環境づくりが必要だと考える。 この町に来て最初に降り立っての第一印象は、JRの駅であり駅周辺の景観である。花の町かみふらのにふさわしい鉄道の枕木を利用した花壇の設置も、当時は人の目を楽しませたものと思うが、時代の推移と共に周辺の大規模化された花壇に押されて、この場所は新しい発想が求められて来ている。 先日、列車を利用し札幌に出かける折、町道を歩いて来て駅に向かって渡る時、タクシーや一般車両が混雑し危険な状況にあった。冬の雪道でも歩道と車道の区別できる案内板の設置など、整然とした駅前周辺整備が必要と思われる。 また、マイカー利用した列車の乗客用の駐車場が不足している。JR用地があるが、冬の雪の期間は使用する事ができない。利用者の便宜を図る手段が必要と思うが、町長の考えを伺いたい。</p>

<p>3 道道吹上上富良野線の改修は (町長)</p>	<p>上富良野高校前の交差点より山加方面に向かって、かなり立派なラベンダー植栽の吹上線道路の改修が進み、上富良野十勝岳観光道路としての機能は充分果たしていると評価している。しかし、市街地の自衛隊旭川地方協力本部上富良野地域事務所(旧募集事務所)前交差点より駅前広場を通り、上富良野高校に向かう道路の整備がされていない。大型店舗の進出による、買い物客、病院への通院患者、通学生徒の往来など、主要なメイン道路である。また、日の出公園や町営オートキャンプ場への観光道路でもある。この道道の交差点には、信号機が設置されたが、歩道幅及び車道幅は狭く、朝夕の交通量の多い時間帯は危険が増しており、観光道路としても大きな使命を果たしている。この件について、町長の考えを伺いたい。</p>
<p>4 6番 今村 辰義 1 十勝岳総合防災訓練のステップアップを (町長)</p>	<p>1 今年2月24日に、大正15年に起きた「大正泥流」規模の大災害を想定して、十勝岳の噴火に備えた総合防災訓練が行われ、住民・警察・消防・自衛隊などが参加した。今期の行政報告によると、自主防災組織の防災訓練参加は、より多くの自主防災組織が参加いただけるよう、今後ともさらに働きかけていくとあるが、全自主防災組織に対し、災害時の要援護者が円滑かつ迅速に避難することができるような支援体制を検証するような訓練を行えば、参画意識や問題意識の高揚が図られ、かつ、参加者数も増えると思うが。</p> <p>2 昨年、役場関係者により陸上自衛隊第2師団の訓練を見学したとのことだが、その見学成果をなにか訓練に取り入れたのか。</p> <p>3 消防庁舎2階で行われる会議の場などにおいて、各部長や関係機関などの判断力の訓練や、各機関同士の連携等が必要であると考え。例えば、時間の経過に応じ結節ごとに状況(課題)を付与して、迅速な関係機関との調整を行い、見積りをし、その結果を報告させるなどの机上訓練的なものを取り入れたらと思うが。</p> <p>4 上記の質問を含め、次の点について伺いたい。      今回の訓練終了時に述べられた町長等の所見(要約)など。      所見などに基づいた、今後の構想(訓練方針、訓練要領etc)「現時点での町長の考えを。(たぶん上記質問の返答を含むと思料します)」      前にも質問したが、自主防災組織と連携した防災活動や防災訓練のより一層の活性化を図るために、危機管理の専門官の配置や防災士などの養成が必要と考えるが。</p>

<p>5 10番 和田 昭彦 1 遊休農地の対策について  (町 長)</p>	<p>2月に行われた住民会長と町議会議員との懇談会において、郡部住民会から出されたテーマ農業振興の中で遊休農地対策が話題になった。農業後継者が少なく、これからも農家戸数の減少が確実視される状況で、1戸当りの耕地面積が増え続けると、作業効率の悪い農地の管理には手が回らなくなり、ますます放置されることが予想される。農地保全の上からだけでなく、この美しい上富良野の景観保全の面からも、遊休農地の解消に向けての対策は一年でも早く取り組んでいくべきではないかと思うが町ではどのような対策を考えているのか。</p>
<p>2 青少年の国内外交流事業について  (教育長)</p>	<p>青少年国内外交流事業で、これまで町の将来を担う児童・生徒を友好都市の津市とカムローズ市へそれぞれ5回派遣してきた。3年に1度の事業ということですので全ての児童・生徒にその参加のチャンスを与えるために、津市へは小学校4年生から6年生まで、カムローズへは中学生・高校生を対象としているが、国内外交流事業実行委員会の仕事に関わっている者として、一つだけ気になることがある。</p> <p>それは、児童・生徒が参加出来る対象の中で「...本事業にかかる研修に出席出来る児童・生徒でその保護者は上富良野町税等の滞納者に対する行政サービス制限措置等に関する条例の規定に基づき、町税等に滞納がないこと」ということが実施要項に書かれていることである。この事業は 町の将来のために子供に対する助成であり、投資だと思う。子供は親を選べない。保護者の家計が生活困窮だとしても、子供にそのチャンスを失わせる制限は好ましくないと思う。青少年国内外交流事業のみ、この行政サービス制限措置等に関する条例の規定から除外すべきではないか。</p>
<p>6 12番 佐川 典子 1 地域経済の循環について  (町 長)</p>	<p>平成 20 年「経済危機対策」が問われ、国レベルにおいては雇用情勢悪化対策と連動した施策として定額給付金に始まり、「地域活性化・生活対策臨時交付金」など地域経済救済に向けた施策が行われた。引き続き平成 21 年度には「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」が交付され、我が町も約 7,900 万円程度の臨時交付金を受けたが、その方向性の中に「地元の中小零細企業者の受注に資するようきめ細かなインフラ整備事業」について、例示され経済処置が行われた。長引く経済不況と少子高齢化の波で町中商店街にもシャッターが下ろされ閉店が増えてきている。我が町の地元の商工業者が納める法人税は、当初予算の約 780 万円の税収の落ち込みで、今後、町財政においても影響が危惧される場所である。町内で購入できるものは地元優先が叫ばれ、他町村自治体においては地元の商工業者を守り利用する事が地域の活性と地域経済の循環や雇用を守り、人口減にも対する有効な手段と考えられ施策が打ち出されているが、我が町も地元商工業者の受注を守る事で地域経済の循環が成される事について町としてどう考えているのか、また仕組みづくりや対応・助成制度などについて伺いたい。</p>

<p>2 子育て世代の支援について (教育長)</p>	<p>出生率の低下により人口ピラミッドの形態が30年後には正三角形から逆二等辺三角形に近い壺状になると予想され、働き手が減り、5人で4人の高齢者を支えなくてはならない状況が生まれるとされている。医療や福祉、年金・介護などに財政が圧迫され“疲弊”どころか、このままでは破綻しかねないとして子育て世代を応援し、少子化に歯止めをかけ、出生率を増やす対策として国や地方自治体も力を入れてきている。政権交代で「子ども手当」が支給される運びとなったが、低所得者や非課税世帯への給付が大幅に増え、年収360万円から680万円の私立幼稚園就園者の世帯では実質保護者負担が増えるという内容でこの第4階層の子育て世帯にとって不満が残る。この不平等について町として支援する考えはないか伺いたい。</p>
<p>7 7番 一色 美秀 1 障がい者自立支援法による、当町の地域生活支援事業について (町長)</p>	<p>(1) 日中一時支援事業について (2) 移動支援事業について (3) 相談支援事業について 上記3項目について上富良野町として、どのような支援体制になっているか現状を伺いたい。</p>
<p>8 9番 中村 有秀 1 町民ポストへの投函状況とその後の取り扱いについて (町長)</p>	<p>町民の皆様から、行政の広聴という立場から、町民ポストが町内9箇所に設置され、町に様々の要望・意見が寄せられている。町民ポストは、町民と行政を結ぶホットラインと認識しており、ささいなことでも行政に反映・反応されることが大切であり、この積み重ねが協働の力になる。 町民ポストへの投函状況とその後の取り扱いについて、平成19年度・20年度・21年度(22年2月末)別に、投函件数・所管課回答数・回答希望者数・要望数・意見数・その他の数・広報掲載件数・未公開件数を明らかにすると共に、町民ポスト投函に対する回答の基本的な考え方について伺いたい。</p>
<p>2 日の出公園駐車場の拡張について (町長)</p>	<p>日の出公園は上富良野町の観光の中心であり、公園を中心とした大型イベントには駐車場は絶対必要な施設である。 今年の「かみふらの花と炎の四季彩まつり」は、東町5丁目の旧自衛隊官舎跡地を借用し、仮設通路の設置等に対応したが、雨天等もあり町内外からの来場者には不評で、町民からは不満の声が寄せられ「早く何とかしてくれ！」が町民の声である。「北の大文字」、「雪まつり」のイベントについても同じである。 今後もこの様な状況が続くと、大型イベントへの来場者が年々減少することが予想されると共に、町の活気が失われる。また、この回復には相当の歳月とエネルギーを要する。 平成22年度予算案を見ると、四季彩まつりの駐車場対策として予算計上しているのはやむを得ないとしても、今後の抜本的な対策が急務と考えるが町長の所信を伺う。</p>

<p>3 協働のまちづくり懇談会等の開催について (町長)</p>	<p>町は「第5次総合計画」5つの暮らしづくりの1つ目「人や地域とつながりのある暮らし」の中で、「町民主体で成り立つコミュニティづくり」として情報共有に向けての予算概要の説明書「知っておきたい今年の仕事」については昨年は町民に好評で評価したい。しかし広聴関係は不十分であり、町長は職員に「現場主義」を訴えているが、自らの「町長と語ろう懇談会」や、意見公募（パブリックコメント）職員による出前講座の抜本的な見直しをすると共に、従来型の町政懇談会ではなく、新たな発想での「協働のまちづくり懇談会」を開催して、町民への広報・広聴活動を展開すべきと考える。</p> <p>平成22年度町政執行方針の中でも、「広報・広聴事業の充実に努めてまいります」と書かれているが、これは新年度スタートが予定されている「(仮)協働のまちづくり推進委員会」の設置により、その中で「協働のまちづくり基本方針」の策定を含め、町民参画のあり方と自治基本条例の理念化に努めていくというが、町長のリーダーシップを発揮した方針等が見えてこないため、町長の見解について明らかにしていただきたい。</p>
<p>9 3番 岩田 浩志 1 協働のまちづくりについて (町長)</p>	<p>1 現在、町では各住民会やボランティアの方々をはじめとする、様々な団体により行政と町民との協働の取り組みが行われている。また、町民の中には、これまではあまり協働活動に参加していないが、「何か機会があればお手伝いをしたい」と思われている方も徐々にではあるが増えているように感じている。町も協働のまちづくりに取り組んでいることは理解をしているが、この度の町長の執行方針及び予算書の中に、今後に向け更なる協働のまちづくりのきっかけづくりとなる様な、具体的な取り組みが見受けられないように思うが、町長として協働のまちづくりの目玉となる施策と併せて、協働のまちづくりに向けた考えを伺いたい。</p> <p>2 協働のまちづくりを進めるにあたり、町では、「推進準備委員会」を設置して昨年6月より、委員会も回を重ねること16回を数えている。任期が3月一杯ということだが、これまで町の憲法である自治基本条例の確認や、協働のまちづくりに向けた町の現状や課題について、委員の皆さんのご協力のもと委員会が開催されている。しかし、疑問に思うことは、どうして、「協働のまちづくり推進準備委員会」が、町の付属機関として委員会の設置をされていないのか、伺いたい。また、平成22年度に「(仮称)協働のまちづくり推進委員会」を設置するにあたり、付属機関として設置すべきと考えるが、町長の見解を伺いたい。</p>

<p>2 町長の慶弔について (町 長)</p>	<p>町長の慶弔における、通夜・葬儀への対応については、香典・生花・弔電は基準の中で対応されていると思うが、町長が出席するにあたっては、町として町民すべての方々の通夜・葬儀に出席されていない状況にあると思われる。しかし、町長就任後、すべてが公務での対応となっていると認識しているが、基準から外れる町民に対しての通夜・葬儀に対しての出席、欠席をどのようにお考え、対応しているのか伺いたい。</p>
------------------------------	---